

## ◆◆◆ 5月12日の中国四川省の地震について — 地球を何周もした地震波 —

5月12日15時28分頃（日本時間）、中国四川省でマグニチュード（M）7.9の地震が発生しました。この地震は地殻内で発生した直下型地震で、逆断層型とみられています。今回の地震発生地付近は、過去にも度々大きな被害を伴う地震が発生している地震多発地域です。

この地震による地震波は、その第一波が地震発生後約5分後に、長野市松代町の気象庁精密地震観測室や、国内各地の気象庁地震観測点で観測されました。気象庁では、精密地震観測室の観測解析結果を用い、遠地地震に関する情報を地震発生27分後に発表しています。その後同観測室では17時45頃～20時45分ごろにかけて地球を複数の向きに1周さらには2周した地震波が観測されています。後日のより詳しい解析では、6周目までの地震波が確認されています。また、気象庁が東海地震に係わる地殻変動を観測する地殻歪計でも、今回の地震に伴う東海地方での地殻の歪が観測されています。極めて甚大な被害状況に加えて、このような全地球規模の地震波の長時間にわたる伝播や引き続く大きな余震からも今回の地震の規模の大きさが窺われます。

気象庁ホームページ（<http://www.jma.go.jp>）上の報道発表資料  
（<http://www.jma.go.jp/jma/press/0805/16a/shisenshoujishin200516.html>）より